

# 食事

2017年12月

## 食の安全とは？

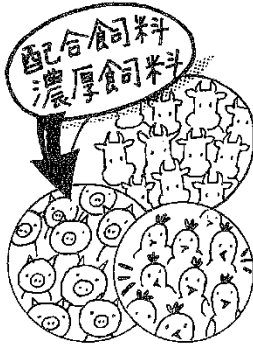
食べ物があふれている現代、子ども達には、なるべく安全・安心なものを選びたいものですがわたしたちは何を見て、食べ物を選べばよいのでしょうか？

### 安全ってなんだろう

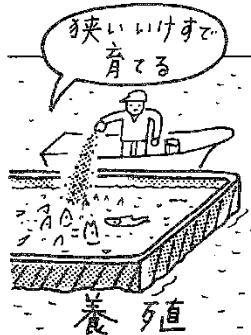
動物・植物が健全に育てられていること、育てられ方をしていることが大切。健全に育つ環境であること。

#### 健全でない育てられ方の動物・植物とは

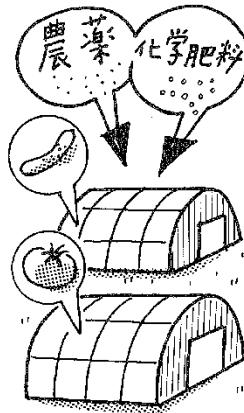
動物（牛・豚・鶏）



魚



野菜・くだもの

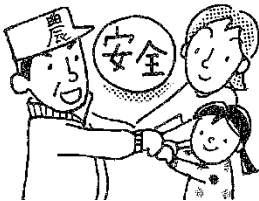


### 食の安全を確保するにはどうしたらいいの

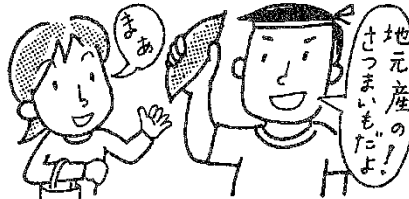
●季節の食べものを食べる



●生産者・消費者で、食べものにとって安全こそ基本的な前提条件だという原則とモラルを確立する



●地場生産・地場消費……その土地で作ったものを、その土地で消費する



●国内産の食料生産を高める



●農薬問題を他人事とせず当事者の一員として問題解決に協力する。脱農薬の農業を広めていく



「少ない小麦粉でたくさん出来るふわふわパン」「肉を少なくして出来る美味しそうなハム」「くだものを極力少なくしたジャム」など、安いものには、理由があります。消費者が安さを望めば企業は、添加物等を加えたり、農薬や遺伝子組み換えしたものを使って低コストで大量生産

できる食物を使ったり…安くできる方法を探します。日本人が食べる食品添加物は、生涯で1トンにもおよぶ、という話もあるくらい、食べ物を食べているのか、添加物を食べているのかわからない商品も多くあります。私たち消費者が、イラストにあるような行動や値段重視より質重視の買い物をすれば、企業も動きます。食の安全が守られるかは、自分たちの選択肢の結果でもあるのです。